国でのビジネスと販策支援のやりがいや難したこのいて洞察を深める機会を提供します。 具体的なプログラムの内容としては、マーラおよびその周辺地域で以下の活動を考えています。最終的なプログラムの内容は、実施期間の受入れたの状況で変更がありうる点ご理解化さい。 1. 企業訪問:日本人同窓生が勤務する場所(民間企業、日本大使館、政府系機関、国際機関など)を訪問し、現地での仕事や生活についてティスカッシュとを行います。可能であれば、スイリビン人同窓生の動物先(フィリビン政府や民間企業など)も訪問する機会は設すます(の) 通路を分割を対します。この、大力を必要があるの使用者間が支援となります。 2. フィールドビッシ・受入4年の了系が得られれば、現地のプロジェクトサイト、たとえば日本政府が复担しているインフラブロジェクトなどを複談、日本の官を協りによってフィリビンの問題がない。とい海様の影響があれば、現地ののの意識がないよの事を具体的に理解します。また、参加者の希望があれば、現地のの名望があれば、現地ののの名望があれば、現地ののの発望があれば、現地ののの発望があれば、現地ののの表望が表して、国際的な仕事についてまだイメージが湧かない学生にとっては興味を持つ第一歩となり、すでに新興国でのビジネスや開発支援に関味を持っている学生にとっては具体的な職業選択を進める際の情報収集とネットワーク構築ができるのではないか、と期時にひいます。 「現地写真」	B1:	8	最終更新日	2024年4月17日
国際公共体的記載セイール アラー学科技術				
第二人名	団体名/所属	フィリピン赤門会		
ままった。 まからい、ままらもの 国際的なキャリア(官長間わず)に興味がある方、フィリピンを含めた研究関係第二ついて興味がある方 コのションは、19年の第一日 コのションは、19年の第一日 コのションは、19年の第一日 コのションは、19年の第一日 コのションは、19年の第一日 コのションは、19年の第二日 コのションは、19年の日の間等ができした。19年の日の間を表していて、19年の日の間を表していて、19年の日の間を表していて、19年の日の間を表していて、19年の日の間を表していて、19年の日の間を表していて、19年の日の間を表していて、19年の日の間では、19年の日の間では、19年の日の間では、19年の日の間では、19年の日の日の間では、19年の日の日の間では、19年の日の日の間では、19年の日の日の目の目の目の目の目の目の目の目の目の目の目の目の目の目の目の目の目の	活動区分	国際交流体験活動;フィール ドワーク体験活動	希望する選考方法	書類審査のみ
●加熱におわらもの 国際的なキャリア(官民間わず)に興味がある方、フィリピンを含めた新興開発素について興味がある方 2025-274月 月~27初会 (会けない間の自由により (会けない間の自由により) (会けない間の自由により (会けない間の自由により) (会けない間の自由により (会けない間の自由により) (会けない間の自由により (会けない間の自由により) (会はないでは、自由により、自身には、自由によりであるアイピンの社会が同かと解析を記していて異様を求め、何々のより・中方ととすす。 フィリピンは、その意から自然を発し出ていて異様を決め、(母かの) (母から) 中心とします。 (母から)	募集人数	10人程度	選考対象	大学院学生を含む
「お動物性	活動方法	オンラインを活用しつつ現地活動を行う		
(政制を利用的 (大きな) (大	参加者に求めるもの	国際的なキャリア(官民間わず)に興味がある方、フィリピンを含めた新興国経済について興味がある方		
プログラム英族の目的 などのフィールドとか小を選びて、国際的な仕事の現場を、で使わらと同時に、急速に発展を設すているアンアの動興国であるフィリとンの社会経済内勢に開発課題について見順を添め、有来のキャリア選択の一動とします。 スペリとンの社会経済の特別を開発課題について見順を添め、有来のキャリア選択の一動とします。 スペリといけ、その書から自然度更とおりにあた。このは、日本との二国間関係も否則は、別の機能的な交流を選びて日々度化しています。このような意思に、このような意思では、国際的カル県株体の元年を対象に、フィリといの社会と経済のダイナランを直体検し、新発等のダイナスへと成別変更のからかい。「一般において関係を添める機能を提出します。 具体的なプログラムの内容としては、マーラおよいその間辺地域で以下の活動を考えています。最終的なプログラムの内容としては、こつような形式、アッパンとの同意とを提出します。 1、全裏部所・3年入人の文法で変更多数から5名。工程的に、同時において対象とないます。というなでスイルの文化の関心を受けるがある。 1、全裏部所・3年入りまでは、日本のでは、「カイルと、「カイルと、人間も表現が実践しているインプラブロジェクトなどと情報に、自まの意思語がよるとでスイルに、フィリとンの問題がとのように対象されば、現地での仕事を必要があるの意用を指は、アメリーンのの意思がとのよりによいにより、「カイルとでは関係しています。」というなでは特別は、日本の意思語がよるとのフィルドとの影響がないできました。これは日本の表現が、日本の意思がある。フィルドンの歴史、文は、おいで、日本の意思を描しているでは、日本の意思を描しています。 2、フィーンドリー・イン・フィリとン側できなの方を全を固します。また可能である。の名をからかれば、現地のからなできるのでは、おいでは一般に表現しています。 3、ソーシャルイベント・アッパンと関であるの音を全に関します。また可能である一般の表現が、日本の意思を表現しませ、これでは、日本の意思を表現しました。 3、ソーシャルイベント・アッパンと関係とないままが、日本の意味を表れば、現地のできないが、これが、日本の意思を表現しました。 4、おいでは、国際的な仕事についてまたが、日本の意思を表現しました。 「規模3争加するための 費用 「日本に対し、日本に対しています。」 「原理3争加するための 費用 「日本に対しています。」 「日本に対してい	活動期間	(受け入れ側の都合により1 週間程度前後する可能性あ	主な活動予定場所	フィリピン・マニラおよびその近郊
成長しています。この次長に伴い、日本との二国間関係も変更に、プリビンの対象と認力の対象とはでも不幸にしています。 このような脅象の下、本程のは、国間がのごからなと数で変更がからいかした。 異体的なプログラムの内容としては、マニラおよびその周辺地域で以下の活動を含まれています。最終的なプログラムの内容としては、マニラおよびその周辺地域で以下の活動を含まれています。最終的なプログラムの内容としては、マニラおよびその周辺地域で以下の活動を含まれています。最終的なプログラムの内容は、実際、関係局間のテストも大力の次定で変更がありきる。正確がください。 1. 企業お助:日本人間を重が助かするを無く民間と重、日本大使症、政府系機関、国際機関など)とお助し、現地での仕事や生活についてディスカッシュとを受けます。その古の世界とのプログラムの内容は、実施できるの意力ができるのと思います。また、参加者の音楽がよりでは、日本の音楽技力によってノイリンの課題がどのよが、開発されているのかを見体的に理解します。また、参加者の音楽がかれば、現地のが正を選がよりない。2. フィールドビンか、長人人ものでき世代の大きで関係とないとのできたりのできたのできたがあれば、現地のプログランクトなどを視察に、日本の音楽技力によってノイリビンの開発のブログランとも可能です。 2. フィールドビンか、長人人ものできたりのできなからな音ができるのが生があれば、滞在前または滞在中に、フィリビンの歴史、文化、おどに日本との工場の特別を担い関係といてご覧を変から会から対すことも可能です。 3. ソーン・レルイベント・フィリビン・制門会とのク含会を企画します。また可能をあれば、滞在前または滞在中に、フィリビンの歴史、文化、おどに日本との一般的教化によってリージンの表の必要が必要が、会からできたしては実施がな職業選択を進める際の情報収集とネット・ワーク構築ができるのではないか、と開始しています。 「国施業量】 「内別」参加するための費用 「信用税」 「「国別」参加するための費用 「信用税」 「「内別」参加するための費用 「信用税」 「「内別」参加するための費用 「信用税」 「内別」参加するための費用 「「内別」参加するための費用 「内別」参加するための費用 「自用できるが、のまりには、対しないで、上板砂が治をのいいエリアのホテルの紹介や、滞在中に心の関係を分かとつかでは参加者自身で予約 安全に配りが表別の方が上でしたのだけ、大阪前に、オンラインで、上板砂が治をのいいエリアのホテルの紹介や、滞在中に心の場所を必ずるのといいで、と行います。 「場別を加する際域質和のプリーフィング・液検剤の利用などについて、と行います。 「場別・部する際域質和のプリーフィング・液検剤の利用などについて、と行います。 「場別・部する関域質和のプリーフィング・液検剤の利用などについて、と行います。 「場別・部する関域質和のプリーフィング・液検剤の利用などについて、と行います。 「場別・部するの機能を関するのでは、大阪前に関係でありませんののでは、大阪前に関係でありませんののでは、大阪前に関係でありませんののでは、大阪前に関係でありませんのでは、大阪前に関係でありませんのでは、大阪前に関係でありませんのでは、大阪前に関係でありませんのでは、大阪前に関係でありませんのでは、大阪前に関係でありませんのでは、大阪前に関係でありませんのでは、大阪前に関係でありませんのでは、大阪前に関係でありませんのでは、大阪前に関係でありませんのでは、大阪前に関係でありませんのでは、大阪前に関係でありませんのでは、大阪前に関係でありませんのでは、大阪前に関係でありませんのでありませんのでは、大阪前に関係でありませんのでは、大阪前に関係でありませんのでありませんのでありませんのでありませんのでは、大阪前に関係でありませんのでありませんのでありませんのでは、大阪前に関係でありませんのでありませ	プログラム実施の目的	などのフィールドビジットを通じて、国際的な仕事の現場を肌で感じると同時に、急速に発展を遂げているアジアの新興国		
【内駅】参加するための費用 3~5万円程度(2人1部屋、5泊6日を想定) 【内駅】参加するための 費用(交通費) 【内駅】参加するための 費用(交通費) 【内駅】参加するための 費用(その他) 飲食代・遊典費等は別途個人負担。視察先(例えばスラムなど)によっては、入場料が別途かかる可能性あり。 奨励金額(予定) 40,000円 ホテル・フライトについては参加者自身で予約 安全に関する渡航前のブリーフィング・渡航前に、オンラインで、比較的治安のいいエリアのホテルの紹介や、滞在中に心得るべきことの情報共有(夜間の外出や公共交通機関の利用などについて)を行います。 活動に関する関係資料の ダウンロードサイト 応募団体を紹介するウェブサイト等団体で応募の場合) この企画に対する担当者 参加する	具体的な内容(800学程度)	成長しています。この成長に伴い、日本との二国間関係も官民両方の積極的な交流を通じて日々深化しています。 このような背景の下、本研修では、国際協力に興味を持つ学生を対象に、フィリピンの社会と経済のダイナミクスを直接体験し、新興国でのビジネスと政策支援のやりがいや難しさについて洞察を深める機会を提供します。 具体的なプログラムの内容としては、マニラおよびその周辺地域で以下の活動を考えています。最終的なプログラムの内容は、実施期間の受入れ先の状況で変更がありうる点ご理解ください。 1. 企業訪問:日本人同窓生が勤務する場所(民間企業、日本大使館、政府系機関、国際機関など)を訪問し、現地での仕事や生活についてディスカッションを行います。可能であれば、フィリピン人同窓生の勤務先(フィリピン政府や民間企業など)も訪問する機会も設けます(その場合の使用言語は英語となります)。 2. フィールドビシット・受入れ先の了承が得られれば、現地のプロジェクトサイト、たとえば日本政府が支援しているインフラブロジェクトなどを視察し、日本の官民協力によってフィリピンの課題がどのように解決されているのかを具体的に理解します。また、参加者の希望があれば、現地のNGOを通じてスラムエリアの見学なども行うことも可能です。 3. ソーシャルイベント・フィリビ・ボ門会との夕食会を企画します。また可能であれば、滞在前または滞在中に、フィリピンの歴史、文化、および日本との二国間関係について理解を深める機会も設けます。 本プログラムを通じて、国際的な仕事についてまだイメージが湧かなし学生にとっては興味を持つ第一歩となり、すでに新興国でのビジネスや開発支援に興味を持っている学生にとっては具体的な職業選択を進める際の情報収集とネットワーク構築ができるのではないか、と期待しています。 【現地写真】		
(宿泊費) 「内駅]参加するための 費用(交通費) 東京マニラ往復航空券-6~9万円程度、マニラ市内車移動費-2万円程度(※借上車を想定) 【内駅]参加するための 費用(その他) 乗励金額(予定) 40,000円 本テル・フライトについては参加者自身で予約 安全に関する渡航前のブリーフィング:渡航前に、オンラインで、比較的治安のいいエリアのホテルの紹介や、滞在中に心得るべきことの情報共有(夜間の外出や公共交通機関の利用などについて)を行います。 活動に関する関係資料の ダウンロードサイト 本語に関する関係資料の メ特になし 本書団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合) この企画に対する担当者 参加する		10~15万円程度		
要用(交通費) 果京マーブ吐食加至赤ーの~9万円程度、マーブ印料や助員 2万円程度(然信工事を認定) 飲食代・遊興費等は別途個人負担。視察先(例えばスラムなど)によっては、入場料が別途かかる可能性あり。 要励金額(予定) 40,000円		3~5万円程度(2人1部屋、5泊6日を想定)		
要励金額(予定) 40,000円 ホテル・フライトについては参加者自身で予約 中学 では、大学 では、 はいいは、 はいは、 いいは、大学 では、 いいは、 いいは、 いいは、 いいは、 いいは、 いいは、 いいは、		東京マニラ往復航空券-6~9万円程度、マニラ市内車移動費-2万円程度(※借上車を想定)		
ホテル・フライトについては参加者自身で予約 安全に関する渡航前のブリーフィング:渡航前に、オンラインで、比較的治安のいいエリアのホテルの紹介や、滞在中に心得るべきことの情報共有(夜間の外出や公共交通機関の利用などについて)を行います。 活動に関する関係資料の ダウンロードサイト 応募団体を紹介するウェブサイト 等(団体で応募の場合) この企画に対する担当者 参加する		飲食代・遊興費等は別途個人負担。視察先(例えばスラムなど)によっては、入場料が別途かかる可能性あり。		
備考 安全に関する渡航前のブリーフィング:渡航前に、オンラインで、比較的治安のいいエリアのホテルの紹介や、滞在中に心得るべきことの情報共有(夜間の外出や公共交通機関の利用などについて)を行います。 活動に関する関係資料のダウンロードサイト 応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合) この企画に対する担当者 参加する	奨励金額(予定)	40,000円		
ダウンロードサイト 3型に企业 応募団体を紹介するウェブサイト 等(団体で応募の場合) この企画に対する担当者 参加する	備考	 安全に関する渡航前のブリーフィング:渡航前に、オンラインで、比較的治安のいいエリアのホテルの紹介や、滞在中に心		
等(団体で応募の場合) この企画に対する担当者	活動に関する関係資料のダウンロードサイト	<u>特になし</u>		
		参加する		